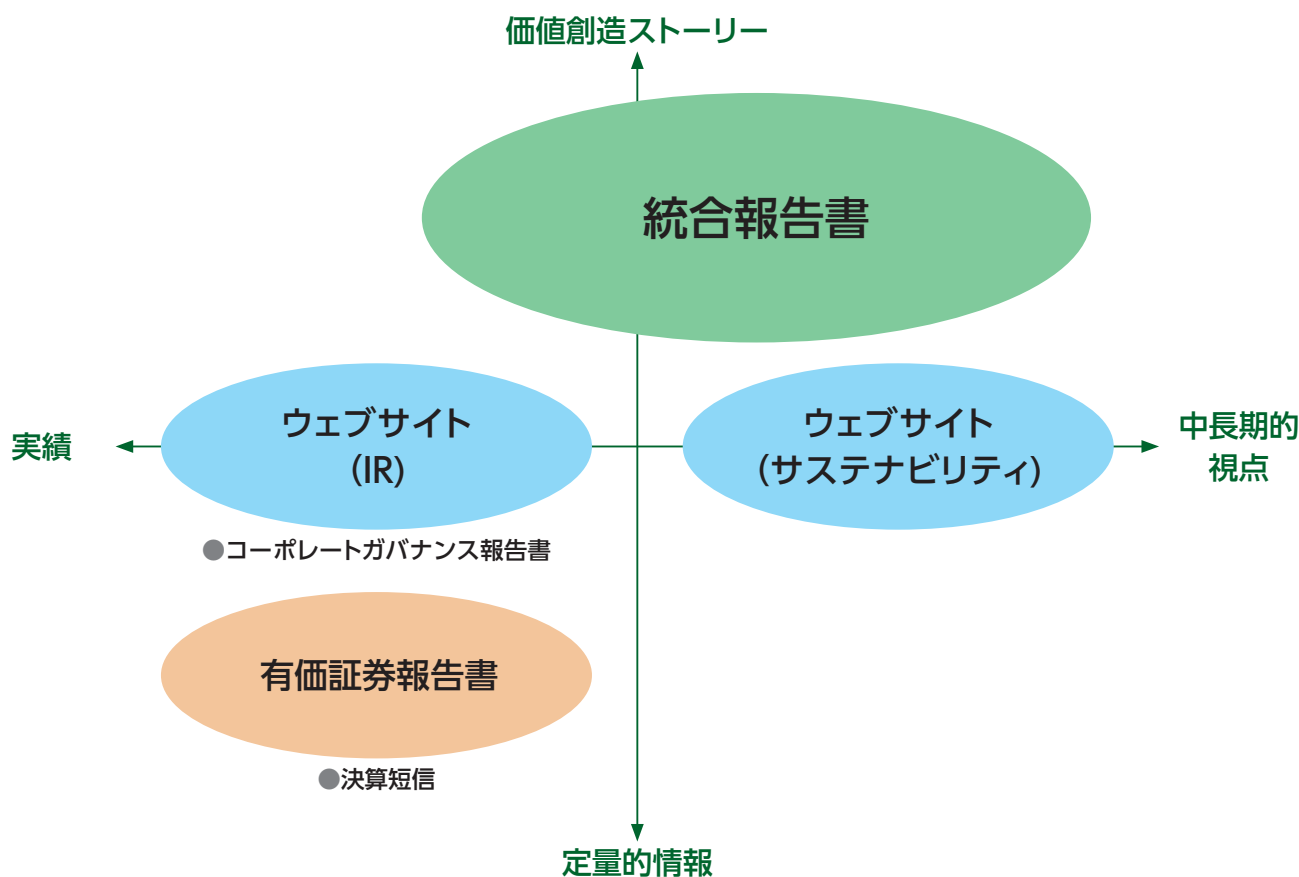


編集方針

統合報告書を発行する目的、経緯

ダイセキでは2020年からESG（環境・社会・ガバナンス）の観点から非財務情報を積極的に開示し、環境保全と資源保護に貢献する当社の企業活動を発信してきました。このたびさらに企業価値を高めるために、財務情報だけでなく、数値化されていない非財務情報もまとめた統合報告書を発信することとしました。統合報告書のダイセキの経営理念、DNA、ビジネスモデル、戦略、ガバナンス等を一貫した“価値創造ストーリー”として描き、ダイセキの存在価値を広く伝え、さらなる成長の力に変えていきたいと考えています。



編集方針・報告対象範囲等

● 報告対象範囲

ダイセキグループ全体の価値創造活動、事業活動、サステナビリティ活動が対象。

● 報告対象期間と期間中発生した組織の重要な変化

2023年度(2023年3月1日～2024年2月29日)。ただし、一部、対象期間外の活動・実績にも言及しています。期間中における組織構造や株主構成、事業内容等に関する重要な変化はありません。

● 発行日、これまでの発行と次回発行予定

発行日：2024年7月31日 前回発行日(ESG報告書2023)：2023年7月31日 次回発行予定：2025年7月

CONTENTS

Our Purpose	02
Core Value	03
編集方針	04
トップメッセージ	06

ダイセキの価値創造ストーリー

●ダイセキの成長の原動力	10
●イノベーションの源泉	12
●ダイセキの強み	13
●ダイセキの価値創造プロセス	14
●副社長メッセージ	16
●長期経営ビジョン「VISION2030」と 長期経営計画の進捗状況	18
●マテリアリティの特定プロセス	20
●PEST分析	21
●マテリアリティと重要項目の特定	22
●非財務資本の強化	24
●CFO(企画管理本部長)インタビュー	26
●資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応	28
●財務・非財務ハイライト	30

ダイセキグループの事業概況

●ダイセキグループの事業概況	32
●廃液・廃油・汚泥のリサイクル事業	34
●汚染土壌のリサイクル事業	35
●鉛のリサイクル事業	36
●大型タンク清掃事業	37
●石膏ボードのリサイクル事業	38
●その他資源のリサイクル事業	39
●ダイセキグループの営業部門 トップ対談	40
●リサイクルによる温室効果ガス排出量の 削減への貢献	44
●再生燃料による化石燃料の代替	46
●リサイクルによるサーキュラー エコノミーへの貢献	46
●災害復旧支援による豊かな暮らしの 確保への貢献	47
●ダイセキ技術部門対談	48

ESG情報

●環境	50
●社会	58
●ガバナンス	70

非財務情報・企業情報	80
------------	----

統合報告書のポイント

統合報告書2024による情報開示

統合報告書2024では価値協創ガイダンスに基づいて作成した価値創造ストーリーをまとめました。まずはダイセキの成長の原動力は何か、どのようにイノベーションを生み出してきたのかを関係者へのヒアリングを行って特定しました。そのうえで産業廃棄物処理業やリサイクル業の市場環境を分析し、今後ダイセキはどのような価値を社会に提供していくべきなのかを説明しています。価値創造ストーリーでは、どのように事業を成長させていくのかといった成長戦略と、企業としての持続可能性をどのように担保していくのかといったサステナビリティの観点の両方で検討を行いました。また今回はCFOインタビューと財務戦略の説明を追加し、投資家の方向けにダイセキの企業価値をどのように向上させていくのか財務的な観点で説明を行っています。

ESG報告書2023による情報開示

ESG報告書2023ではダイセキの成長の原動力、価値創造ストーリー、長期経営ビジョン「VISION2030」の達成に向けた取り組みについて説明し、環境、社会、ガバナンスに関するサステナビリティ情報をステークホルダーに開示することで企業価値の向上を図りました。

●作成部署・連絡先

株式会社ダイセキ 統合報告書制作委員会
TEL: 052-611-6322/FAX: 052-612-4382
E-mail: kankyo@daiseki.co.jp

※2024年6月から本社屋増改築工事期間中の本社連絡先は
TEL: 052-728-1155 FAX: 変更なし

●主な企業情報

会社案内、有価証券報告書、株主通信、各種報告書(環境報告書、
環境・社会報告書、CSR報告書、ESG報告書)、ホームページ、
産廃情報ネットーさんぱいくん